

第 96 号



人と人

発行
東村山市国際友好協会
編集：広報委員会
東村山市本町 1 - 2 - 3
東村山市役所内
☎ 393-5111 内線2558
http://www.h-ifa.com/

海の向こうに素敵な仲間

We are ONE!

違う国・違う習慣・違う言葉・何もかも
違って見えたけど「Thank you」のひとつ
とで気持ちが温かくなり、心が通じ合う。



会員募集中!!
お気軽にお問い合わせ下さい。
☎393-5111 内線2558



上：開拓時の衣装を着て
左：幌馬車に乗って
右下：お別れパーティーのときに
下：ハンコックさん宅のパーティー

第29回学生派遣団が7月27日
～8月11日にインディペンデンス市（イ市）でホームステイし、
貴重な体験を持ち帰りました。
（以下は帰国後の報告から抜粋）

引率者 花岡 真琴

この派遣団に参加し、多くの
刺激を受け、多くの経験が出来
ました。派遣団11名が14日間で
感じ得た気持ち、楽しさ、感謝
団結、驚きはこれからも色褪せ
る事なく私達の心に残ると思い
ます。一人の人間としてコミュ
ニケーションをとる大切さを学
び、何事にもとにかく前向きに



頑張っていた派遣生のおかげで
今回の訪問を、無事に笑いが絶
えることなく終えることが出来
ました。この様な機会を与えて



下さった全ての方々に心より感
謝を申し上げます。

仲条 高幸（大二） 恩多町

滞在中最良の日はホスト宅に
28人も集まって開いてくれたサ
プライズ誕生パーティーの日で
す。リーダーとして嬉しかった
ことは皆が満足そうに各々の思
い出を話し、このメンバーで良

東村山市	両市の比較	イ市
150,004	人口(人)	113,288
17.17	面積(km ²)	200.00
10	年降雪量(cm)	222
15.1	年平均気温(℃)	14.7
26	市議会議員(人)	6

(2008年調べ)

かったと話してくれたことです。

當間 実結（大一） 久米川町

本場の大リーグ観戦は盛り上
がりがすごく、圧巻でした。フ
アマリデーにはプロサッカー
の試合を見に連れて行ってもら
いましたが、日本の方がレベル
が上だなあと感じました。今回
の訪問でステイ先だけではなく
学生たちとも仲良くなり、帰国
してからフェイスブックやE
メールで連絡を取っています。

安東 春佳（高二） 美住町

初の海外生活に不安と期待感
を抱いていましたが、ホストフ
アマリが温かく迎えてくれて
うれしかったです。

三ヶ尻 理乃（高二） 栄町

私は乗馬やグレンデール小学
校で子供たちと遊んだことが印
象に残っています。馬に乗りな
がら見た湖や丘などの自然の景
色は本当に美しく、心に焼きつ
きました。この訪問はとても充
実したものになりました。

森 裕規（高二） 富士見町

5年前に私の家でホームステ
イをしたギャレットと再会する
ことができ、旧交を深めた。

平沢 みさき（高一） 本町

アメリカの家にホームステイ
するということは、どんな海外
旅行よりもアメリカのこと、ア
メリカの生活、アメリカ人の英
語について知ることができた

東村山市国際友好協会	概要	インディペンデンス市
1977年に設立。7つの委員会 で構成されており、イ市との姉妹 都市提携以来33年が経過しまし た。ほぼ毎年派遣学生の交流の 他、5年毎に市民の交流を行って います。またイ市に2つの日本庭 園を造園。回田小学校は姉妹校を 提携・第二中学校は中学校間の交 流が始まるなど、両市の友好の輪 が広がっています。		

思います。

田中 利佳（高二） 本町

みんな簡単な英語で会話をし
てくれたので、不安はすぐにな
くなりました。ホストマザーの
誕生日もあり、今までで一番の
すばらしい思い出になりました。

松本 恵里佳（高一） 本町

メンバーの中で最年少という
ことで、色々と迷惑をかけたと
思いますが、ホストファミリー
をはじめ皆さんに支えられ楽し

い思い出を作りました。

原 典路（高二） 野口町

二週間の滞在はあっという間
で名残り惜しく、過ごした日々
はかけがえのない宝物です。

森山 雄介（高一） 美住町

生の英語にふれ、普通の旅行
では経験できないような、小学
生との交流や家庭での生活など
自分にとってプラスになる体験
がたくさんできました。

派遣生引率者
ホストファミリー！
サポーター
募集

◎派遣生・引率者

平成24年度第30回イ市親善訪
問派遣団員及び引率者を募集し
ます。アメリカで実際にホーム
ステイ生活を体験して友好の輪
を広げてみませんか。

応募期間：平成24年2月1日(木)
～3月14日(水)

説明会：3月2日(金)を予定

◎ホストファミリー！サポーター

ホストファミリーとそれをお
手伝いして下さるサポーターを
募集します。

説明会：平成24年3月に予定
※募集についての詳細は、来
年1月15日付の市報に掲載。

イ市滞在スケジュール

7月27日	出国・カンザス空港到着
7月28日	プールサイドパーティー
7月29日	市役所訪問
7月30・31日	ファミリーデー
8月1日	市内観光
8月2日	「マンマミーア」観劇
8月3日	遊園地
8月4日	サマースクール参加・ナイトキャンプ
8月5日	乗馬・ウェスタンランチ・野球観戦
8月6・7日	ファミリーデー
8月8日	お別れパーティー
8月9日	市長晩餐会
8月10日	帰国

有難うございました （会費納入御礼）

当協会の活動にご理解とご協力を頂き、多くの会員・賛助会員の皆様から会費の納入を頂きました。誠にありがとうございました。

賛助会員さま（順不同・敬称略）

(社)東村山市医師会、(社)東村山市歯科医師会、東村山市薬剤師会、東京東村山ロータリークラブ、(株)関製作所、青葉調剤薬局、(株)いなげや東村山秋津店、角田幸司、斉藤松志、鈴木新吉、増田勝義、當間洋吉、志村治男、川合萬次郎、丸山キミ、(有)小町総業、熊木令次、(株)サニーカルチャープラザ、東村山給食センター、長坂式典センター、あさひや製麺(株)、西村良隆、石黒文夫、武蔵野労務管理事務所、川合みどり、(有)一翠、東村山ファーマシー、川島玉三、(有)あおき印刷、細渕一男、(株)千代田防災、市川正史、澤田泉、當間義夫、東村山青年会議所、東村山青年会議所シニアクラブ、桜井喜吉、木島安明、いなげや市役所前店、(株)ポールスタア、割烹「義」、ライオンズクラブ、むさしの幼稚園、(株)ふいっしゅいんてりあ、山崎製パン(株)武蔵野第2工場、木下孝男、エネックス(株)、大野茂、J A東京みらい東村山支店、東光建設(株)、けやき調剤薬局
(会員拡充委員会)



イ市グッズは今年の7月、派遣学生がイ市からの帰国時にイ市姉妹都市委員会から託されたキャップ、Tシャツ、エコバッグなど約200点です。これらは当協会の活動資金にして欲しいとイ市から寄贈頂いたものです。先に東村山市国際友好協会の会員から提供して頂いた和風小物をイ市へ寄贈したお礼との事です。なお、Tシャツの一部を販売しましたところ初日で完売しました。



またキャンディレイは一個100円と安価のため子どもたちに変人気があり、昨年は初日早々に完売でした。そこで今年は300個を製作・販売しましたがアツという間に完売しました。

キャンディレイ、インディペンデンス市のグッズでした。焼きそばは事前の準備が大変で、多数の会員が裏方でキャベツや肉などを切りました。派遣学生は焼きそばの移動販売などを行い両日とも用意した600食が早々に売り切れました。

焼きそば大好評 市民産業まつりに参加

第50回の市民産業まつりは、11月12日(土)・13日(日)の2日間にわたり開催されました。本年は晴天にめぐまれ当協会も姉妹・友好都市コーナーの一角にお店を出しました。今年も会員交流委員会が中心になり準備を整え、多くの会員の皆さんと派遣学生の支援を頂き開店しました。

またキャンディレイは一個100

役員委員の懇親会

8月20日(土)6時半より東村山駅「サンバルネ」のコンベンションホールにて、「エンジョイサマー」と題して、新体制となった役員委員の懇親会が開かれました。会費3000円。

岩瀬会長の開会の辞のあと、



派遣生による移動販売

渡部市長、熊木特別顧問からご挨拶をいただきました。35名ほどの参加者はこれからの協会活動について楽しく話し合いを行いました。

英会話講座スタート



パネッサ先生に感謝状を贈呈

10月5日(水)、市民センターにおいて後期講座の開講式を行いました。受講会員は93名です。

あの人は今

マロリーさんは2004年のイ市からの訪問学生で、昨年から仙台市の小学校で英語を教えています。今回の大震災を体験し、寄稿してくれました。

私はあの大震災の後東北にとどまりました。震災の後の仙台での暮らしはとても不安なものでした。食べるものを求めて食料品店に3時間以上も並ばなければなりません。食料は限られていて、私の学校にいる人たちが全員の食糧を得るのは困難でした。けれども神様が私を守ってくださり、食糧を確保し、安全に避難できる場所を与えてくださったのです。私が勤務する学校でトラックから荷降ろししたり、食料

花みずきコーナー

このコーナーでは、姉妹都市インディペンデンス市の最近の出来事などをお知らせします。☆当市からの派遣生がイ市滞在中に開催されたライマル市長主催夕食会の席上、姉妹都市締結時から交流に尽力してきたLana Whiteさんの80歳の誕生日を祝い、誕生日の8月9日をイ市の「Lana White Day」とする宣言が市長から報告されました。

この夕食会には「People to People」のCEOである第34代アメリカ大統領の孫娘 Mary Jean Eisenhower さんも出席されました。〔「People to People」は故アイゼンハワー大統領が戦後、世界中に姉妹都市締結を呼び掛け、世界が交流することで平和を推進しようとした団体〕



ラーナ・ホワイトさん

☆3・11の大震災の後、イ市姉妹都市委員会では市民に募金呼び掛け、2874ドルが集まり、ライマル市長より東村山市へ届けられました。また、カンザスシティのプリミティブ・ガルシア小学校の生徒たちも募金を行い、グレンデール小学校へ寄託。姉妹校である回田小学校へ325ドルが送られて来ました。☆イ市姉妹都市委員会では今春から日本語クラスを開講し、2期目として11月7日～12月12日まで毎週月曜日の夜グレンデール小学校で開催されています。担当しているのはウィリアム・ジュエル大学のキンバリー・スワナーさんです。

年筆）が贈呈されました。

また前期講座(4月～9月)の閉講式が9月14日(水)に行われました。受講生94名のうち76名のかたが修了証を受領し、23名のかたが皆勤賞を受けました。来季講座は平成24年4月から6ヶ月間。会場は市民センターです。詳細につきましては来年3月1日付市報、または当協会ホームページをご覧ください。(英会話委員会)

二中との交流

東村山市立第二中学校は Sister City Friendship Club (SCFC) を作ってイ市パイオニア・リッジ中学校と交流をしています。横井先生が顧問です。3年生は引退して、2年生3人、1年生5人で月に1回、2回集まって、パイオニア・リッジ中学校に対して手紙を書いたり、ハロウィンのカードを作るなどの活動をしています。イ市のホームページには二中の生徒からのメッセージが紹介されています。また二中の交流の様子は二中の公式ホームページでもご覧になれます。

お知らせ

左記の日程で会員対象の「上級救命講習会」を開催いたします。多くの方が参加し、救命に関する知識と技能を深めていただければと思います。

日時 平成24年1月22日(日)
午前9時～午後5時
場所 東村山市消防署本庁舎
参加費 2600円
(会員交流委員会)

編集後記

今号は、市内新聞販売店様のご協力をいただいて全戸配布となりました。市民の皆様へ国際友好協会の日頃の活動や趣旨をご理解していただく機会になればと思います。そして当協会に賛同して、会員になっていただくことを願っています。

訃報

協会元顧問 石津元氏が10月16日に亡くなりました。享年87歳。石津氏はイ市との姉妹都市交流のきっかけを作った方です。イ市のダン・ライマル市長、イ市姉妹都市委員会からも献花が届けられました。